

1. 認知症ケアの基本的知識

満足	5満足	26
	4	24
	3	3
	2	0
不満足	1不満足	0

2. 地域包括ケアにおけるGHの役割

満足	5満足	25
	4	24
	3	4
	2	0
不満足	1不満足	0

3. キャリアパス導入

満足	5満足	16
	4	22
	3	15
	2	0
不満足	1不満足	0

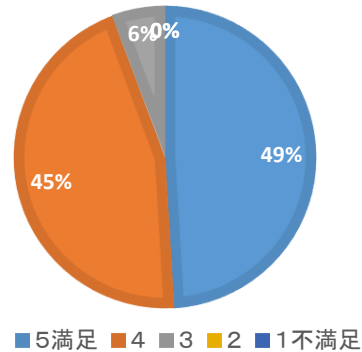
4. 理念や知識、魅力を伝える方法

満足	5満足	33
	4	18
	3	2
	2	0
不満足	1不満足	0

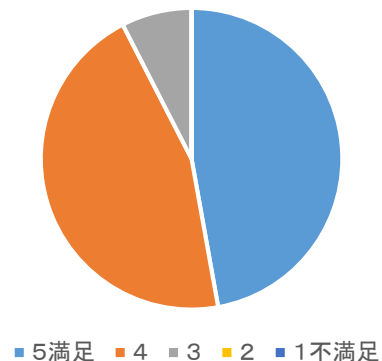
5. みとり倫理について

満足	5満足	35
	4	7
	3	1
	2	0
不満足	1不満足	0

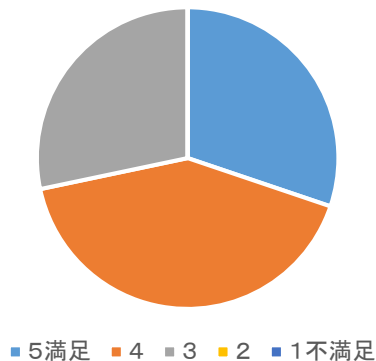
1. 認知症ケア基本



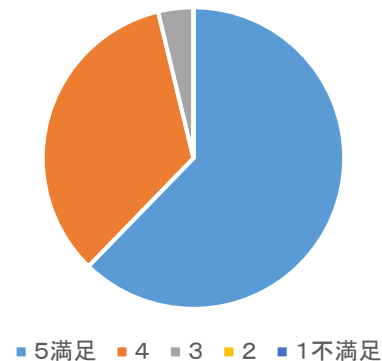
2. 地域包括ケア



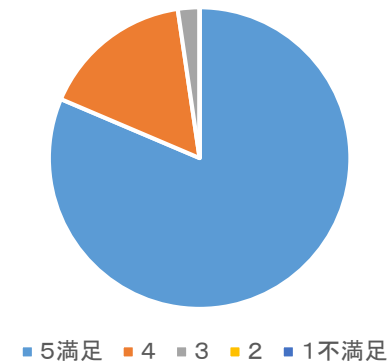
3. キャリアパス



4. 理念・知識・魅力



5. 看取り・倫理



平成27年度 NPO法人 鹿児島県認知症グループホーム連絡協議会
人材育成研修「管理者研修」谷山会場 2015年12月10日
アンケート結果（コメント欄）

1. 印象深く学べた部分を具体的に教えてください。

【認知症の基礎的知識】

- ・ 認知症について（2名）
- ・ 認知症の理解やグループホームの役割など改めて考えたり確認しなおす良い機会になりました。
- ・ 認知症の方の気持ちを代弁して伝えられる人になりたいと感じることができた。特に古城さんの講義でそのように感じることができました。
- ・ 1部4部5部深く学びました。
- ・ 認知症の状態の要因の相互作用を上手に使い、介護し共感を自分の経験に重ね合わせて、相手を感じてもらえるよう理念に基づいて励みたい。
- ・ 認知症ケアと基本的知識をしっかり身につけたい。
- ・ 改めて認知症の知識を深めることができました。
- ・ 増悪因子に照らし合わせて症状をみること。

【地域包括ケア】

- ・ 地域とのかかわりをもっと多く取り入れていきたい。ご利用者様の行動の理由をしっかりと考える。スタッフの気持ちで行動を決めていたことに気づきました。その行為をさせない用にばかりに気を取られ、その理由を考えていなかったです。ありがとうございました。
- ・ グループホームの役割がとても大きいものだと感じた。
- ・ 地域包括ケアにおける GH の役割（2名）
- ・ 運営推進会議の活用の仕方

【キャリアパス】

- ・ キャリアパスとは、処遇改善加算をもらっていますが今まではあまりわからなかった。
- ・ 求人を出しても面接の応募がない現実、今後の不安です。
- ・ キャリアパスについてももう少し深く聞きたかった。
- ・ キャリアパス導入についてしっかりと勉強をして職員に伝えていきたい。

【理念・知識】

- ・ 理念について再認識いたしました。スタッフ間へ伝えていくことへの重要性を痛感いたしました。
- ・ 理念。改めて大切だと感じた。理念に添って伝えていけたかは不安だったりできていなかったりすることを気づけた。
- ・ 「言葉」が武器であること、伝えることの難しさを痛感しました。
- ・ 理念を伝える。知識を伝える。
- ・ 「人材育成」わかりやすい方法で職員が自身の将来像を描けるような伝え方とは何か。陣族に取り組みたい。
- ・ 「理念」についてもっと深く考える必要があると思った。
- ・ 理念を伝えるところで、毎朝唱和し話し合いの中で理念に触れることもありましたが、自分自身伝えているつもりでも、職員にきちんと伝わっているかと思うと伝わっていないように感じ、いかに言葉で伝えることが大事か、自分の足りなさに気づきました。また事象と理論もこれに基づいて職員に伝えていきたい。
- ・ 介護の魅力について再認識できて良かったです。

- ・ 理念についての考え方は大変難しいが、仕事に対する考え方、魅力についてあらためて考えてみることはなかったもので、もう少し掘り下げた視点をもっていきたいと思います。
- ・ わかっていたこと、わかっているつもりでいたこと、理解していても人に伝えることの難しさを感じました。自分の言葉で伝えることがどのくらいの影響力があるのか考えると、さらに人に伝えることに対して戸惑うことが増えそうですが、自分もそういう役目を担わなければいけない立場なのだとひしひしと感じました。
- ・ 理念⇒知識をいかに伝達していくかを再度見つめなおす時間となりました。管理者としてどうして行くのかを今後も考え取り組んでいきます。
- ・ 理念や知識を職員にうまく伝えられているのだろうか。職員は自施設の理念について理解し、しっかり覚えて言えるだろうか。ふと気になりました。その人らしさを理念と結びつけて支援している方の話も聞いたので、もう一度理念と向き合う機会を得ました。
- ・ グループワークで介護職の「魅力」を改めて考えることができた。そして参加者の声を聞くことで魅力も多く、重なり合うものもたくさんあった。仕事に対しての励みになりました。
- ・ 理念という目的に向かってスタッフみんな同じ思いでケアをしていかなければいけないと思いました。
- ・ 理念を言葉にして堂々伝えるのか、根拠のある説明をする。
- ・ 現場の仕事と理念をつなぐのは、どちらも知っている人の「ことば」というのが印象的でした。
- ・ 理念の伝え方。これから自分をどう変えるか。
- ・ 理念・知識をどう伝えるのか、うまく伝えることはできないけれど何度も繰り返し伝えていくことでうまく伝えられるようになりたいと思う。具体的に道筋を立てて、しっかり言葉で伝えていくこと、わかっているけれど本当に難しいし苦手で、少し逃げ腰になっているところがあるので気をつけたい。大切なことは「言葉」「正しい知識」が大切だと思いました。勉強になりました。
- ・ 理念を掲げていても果たしてそれが自分たちのケアの目標になっていたのか。あまり考えていなかったが、これからはしっかり念頭において、職員にも伝えたいと思います。しかし何回も唱えているうちに考えや介護方針が自然にすり込まれていると思いました。
- ・ 理念のもう一度見直したいと思いました。
- ・ 理念を言葉として伝えること、自分を振り返りいつも私を見てということが多く、伝えているつもりでも伝わらない、だからスタッフが育たない、でも場面と理念をつなげられず自分の未熟さを感じた。
- ・ 自分の役割・やるべきこと・できていないことが明確にできた。どうすべきなのかも考えることができました。
- ・ 理念をもとにどのように職員に伝えていくか、常に悩んでいた部分を学ぶことができ、また今後どのように活かしていくかが大事だと感じた（自分自身が）
- ・ 理念をスタッフに伝える方法がなぜ伝わらないのか。
- ・ 理念があやふやになりつつある当施設において、理念がこれほど大事で基本となっていることに、物知らず過ぎに恐くなりました。理念を細かく分け、改めてスタッフと理念について考えてみようと思いました。
- ・ 理念を伝える、知識を伝えることの大切さ。明日から忘れずに実践していきたい。

【看取り・倫理】

- ・ 看取りのところで自分が経験したことがないのでとても興味深く学べた。入居者がどう思うのか、スタッフもどう思うのか、家族がどう思うのか、また自分自身どうあるべきか、考えることができた。
- ・ 看取りについて、どこまで支援体制が整えられるか、もう一度全員で話し合ってみようと思いました。
- ・ 看取りについて、倫理についてケアの中で気づきを増やしていきたい。
- ・ 看取り介護について改めて勉強しなおさなくてはと思いました。

- ・ 看取りの話、いろいろな意見が聞けて大変良かったです。
- ・ 看取りについてほかのグループでの実践を聞くことができたのが、今後の自分にプラスになった。
- ・ 看取りについては経験があることで重く感じながら聞いていました。
- ・ 倫理・看取り 根拠を持ってできるようになりたい。
- ・ 看取りについては前向きに考えていきたいです。(2名)
- ・ 死生観
- ・ 看取りへの不安、改めて勉強をしないといけないと感じました。
- ・ 看取りに大して様々な思いを知らないといけないと感じた。
- ・ どう死にたいかは、どう生きたいかということだと思えた

【全体をとおして】

- ・ 不安をどう取り除く、どこでどう生きるか、考えさせられました。
- ・ 自分の持っていない色々な方の思いや意見が聞け、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ すべて満足。勉強になりました。今後現場で活かしていきたいと思います。
- ・ 各項目で勉強になりましたが、自分の考え以外にもこんなにたくさん意見があるのだと思いました。
- ・ グループワークでの他施設の方々のお話を聞けて、ご利用者の方々との関わり・言葉かけなど勉強になりました。
- ・ グループワークを行うことで他施設の情報を得ることができ、多様なニーズにこたえるために自分がしなければいけないことが見えてきました。
- ・ 全体を通してすべて足りない自分をまた認識しました。細かく勉強していきたいと思います。

2. 研修全般で気になった部分を教えてください。

- ・ キャリアパスのことをもっと聞きたかった(実際あまり学ぶことがないので)
- ・ キャリアパスについてもっと学ぶ必要があると感じた(自分自身が)
- ・ キャリアパスの内容をもう少し学びたかった。とても興味があります。
- ・ キャリアパスについて。資料が準備されていればもっとよかった。
- ・ キャリアパスについてももう少し時間をとって説明を聞きたかった。
- ・ キャリアパスを活用するに当たって会社側の理解は…
- ・ キャリアパスの内容、もっと勉強したかったです(理解力が低いためすみません)
- ・ グループワーク少なめで(苦手です。すみません)
- ・ グループワークで発表することは当たり前かもしれませんが、発表・人前で話すことが苦手できらいです。発表しない研修があったらいいのと思います。
- ・ キャリアパス・理念はもう少し聞きたかったところがあった(難しかったので)
- ・ 質問タイムがほしかったです。
- ・ 充実した内容で研修の仕方も工夫されておりあっという間の時間でした。ありがとうございます。
- ・ テンポが良くて受けやすかったです。
- ・ 参加している方でB S法がわかっているのかな？と思うことが多々あり、同じくらいのレベルの方が参加しているのか疑問に思った。
- ・ 午前の部で「お年寄りの方」との呼び方に違和感がありました。
- ・ 自分の信念をしっかりと持ち続けて健康に努めます。

3. 今後 GH 協議会の研修活動に期待すること

- ・ 一人でも多くの職員が他施設の方と情報共有できるような場（食事会や勉強会）をもっと設けていただけたらありがたい。
- ・ 地区ごとの勉強会
- ・ 今後も参加していきたい。
- ・ 初任者・中堅・管理者と全体の交流もほしい。
- ・ 定期的に行ってほしい。認知症の方々を取り巻く環境はそのつど変化すると考えています。（若い世代の職員へもドンドン参加を促していけるように）ありがとうございました。
- ・ アセスメント・ケアプランについて学びたいです。
- ・ このまま継続してがんばってほしいです。
- ・ 専門的な（技術・知識）勉強会をしてほしい。
- ・ ほかの主催ではなく、GH だからこそ必要としている部分に対しての研修になっていると思う。色々な方向からぜひ計画してください。
- ・ 基礎的な研修を多くしてほしい。
- ・ 今回のような基本的な研修を定期的にしてほしい。
- ・ ここまでのレベルの研修がむりょうだととてもすごいです。